

待望久しい「新南紀白浜空港」が九月末に完成しました。

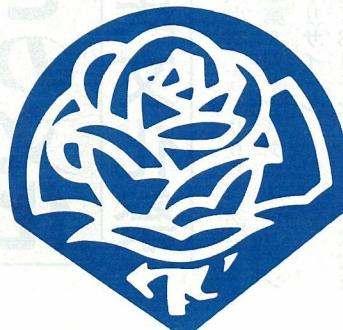
開港は、必要なテストなどの完了する来年三月。千八百メートルの滑走路からは、ジェット機が飛び立ちます。

一便の定員が六十四人から百三十四人に倍増、白浜～東京間の所要時間は一時間四十分から一時間に大幅に短縮。



関空から、そして  
新南紀白浜空港から…

## 広がる空のネットワーク



和歌山の すてきな未来に この一票  
**県知事選挙 投票日 11月5日(日)**

投票日にどうしても投票所へ行けない方や遠隔地におられる方は不在者投票をすることができます。くわしくは市町村の選挙管理委員会へ



# 若者のふるさとづくりを応援 ヤングプランアシスト

県では、地域社会に貢献している青年団体の活動を応援しています。

平成7年度から新しく創設した「ヤングプランアシスト事業」では、活力ある快適な地域社会を目指し、積極的に運動を進めている二十七の青年団体に対し、補助を実施しました。

活動内容は、盆踊りや音楽祭から福祉ボランティアまでさまざまですが、地域を思う気持ちはひとつです。

精神障害者の自立を応援する  
実行委員会「クローバー」。

「ヤングプランアシスト事業」の対象になったグループのうちの一つです。

今年の四月に結成した「クローバー」は、会員数が十人で、同じように精神障害者の自立を応援している「泉の会」や、「ひまわり」とともに和歌山市を中心活動しています。

男性は会社員、女性は主婦が多く、こもりがちな精神障害者の方に味を楽しむことにより、自信を持ったもらおうというのが目的です。

活動内容は、講習会や海水浴、日帰り研修会、クリスマス交流会や絵画教室など。

代表者の「木さんによれば、障害者の方が外へ出かけるのは本当に楽しそうです。家族の方も喜んでくれます。これからも障害者の方の自立に向けてがんばりたい」とのことです。

このほかに、ヤングプランアシスト事業で補助を行った団体は次のとおりです。

▼「まゆーら」(和歌山市)  
勉強会などで子どもを育成  
▼「わかやま絵本の会」(和歌山市)  
絵本「よしむね」の企画、制作

▼橋本市青少年団体連絡協議会  
「三世代交流～老いも若きもふるさとに生きる」の実施

▼「SAWAYAKA委員会」(金

屋町)  
「新春日和写真展&談話会」の実施

▼「フレッシュ梅の里フェスティバル実行委員会」(南部川村)

「花いっぱい運動と煙樹ヶ浜大凧あげ大会」の実施

▼「フレッシュ梅の里フェスティバル実行委員会」(南部川村)

現地の新聞でも交流の様子が  
大きく取り扱われる



フランスの生徒たちの案内で  
ペルビニアン市内のフィール  
ドワークを楽しむ



ピレネーオリアンタル県マヨルカ宮殿にて

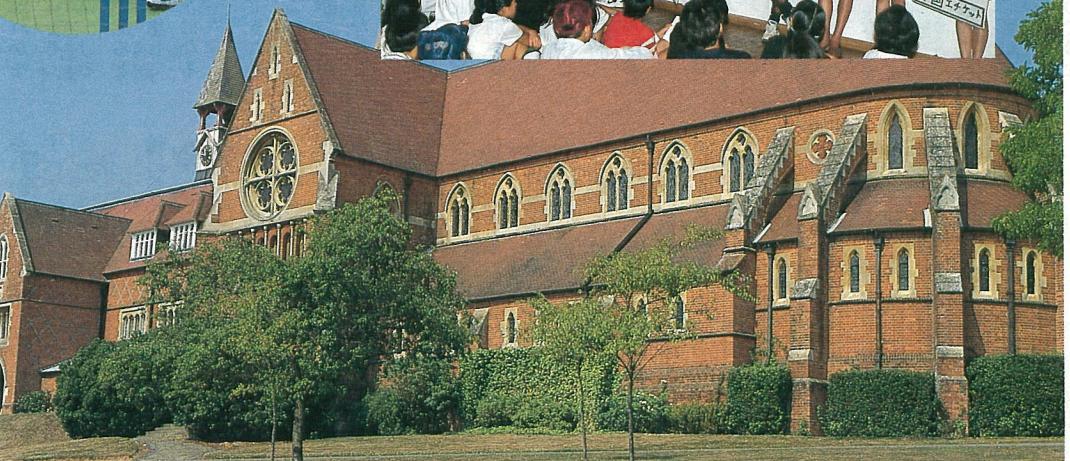


宮殿内での夕食会で両県の子供たちが言葉の壁を  
乗り越えて交流を図る

スコーンづくりを教わる生徒たち（この後、ガーデンアフタヌーン  
ティーでみんなで試食）



素晴らしい環境を誇る  
イギリス・バックスウッド校クラレンレイセンター



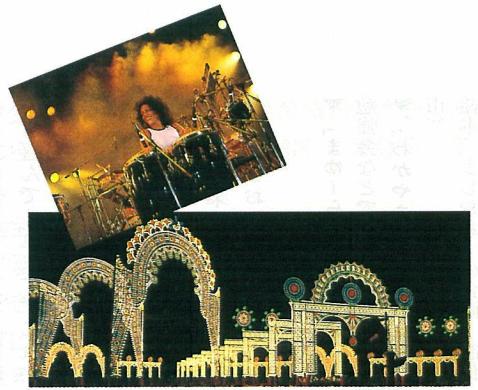
8月17日～24日の8日間、県内の中学生400人の海外研修を行いました。訪問地はイギリス、スペイン、フランス。イギリスでは学校の宿舎に滞在、英語や文化、スポーツの研修をしました。フランスでは友好提携しているピレネーオリアンタル県で、現地の中学生たちと友好を深めました。

この子どもたちが成人するとき、ちょうど21世紀となります。海外研修で得られた経験・成果がふるさと和歌山の発展に大いに活かされることを期待しています。



交流会でのピレネーオリアンタル県側のサルダンダンス

## 県中学生海外研修「ティクオフ'91」



財世界リゾート博記念財団は、世界リゾート博一周年にあたる今夏、記念イベントや中学生の海外研修を行いました。「和歌山を国際的なリゾート発信基地に」「明日の和歌山を担う子どもたちに貴重な体験を」世界リゾート博の成果、精神を、一過性ではなく、今後も継承させていきます。

# 新しい交流を求めて

地中海遊覧に出発  
(サンシップリアン～  
パニユス)



クラレンレイセンターのサマースクールに体験入学



イギリスの代表的  
スポーツ、クリケット  
に挑戦

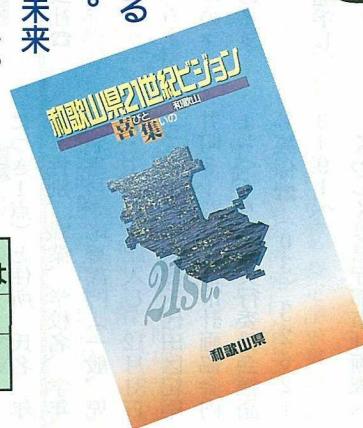


クラレンレイセンターのサマースクールに体験入学

21世紀が目前に迫った今、和歌山県は大きく飛躍する時を迎えてます。その夢いっぱいの未来はどうな姿でしょうか。県では、有識の方々のご提言をいただきながら、21世紀初頭(2020年～2030年)における和歌山県の望ましい姿を描いた冊子“21世紀ビジョン”を作成しました。

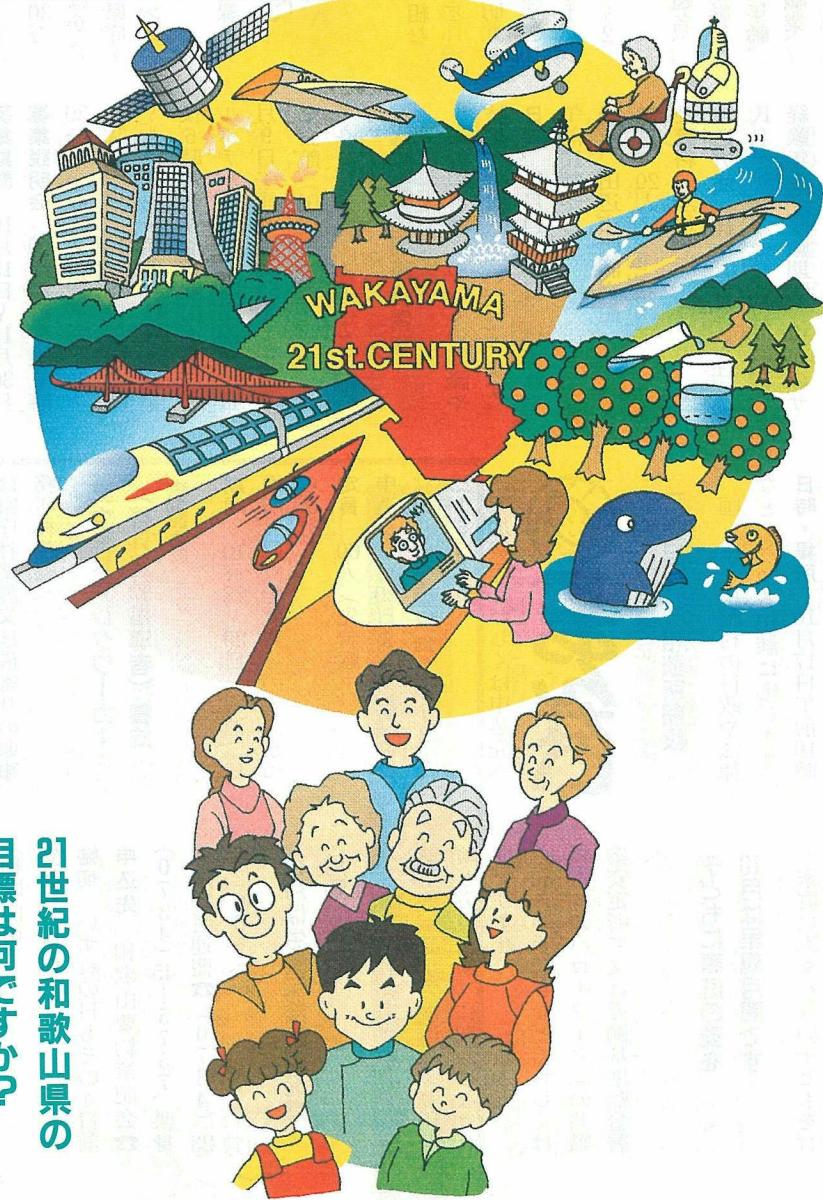
この中から、紙面の都合上、一部を紹介します。

『和歌山県21世紀ビジョン』をご希望の方は  
県庁企画室☎(0734)41-2333へ  
お問い合わせください。



# 夢いっぱい 未来の和歌山県 和歌山県21世紀ビジョン

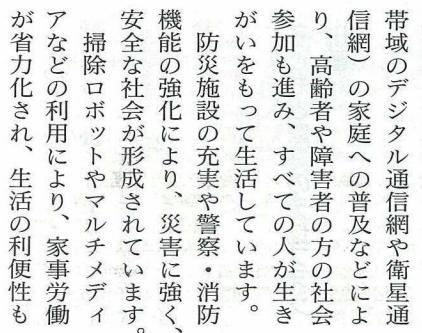
『喜びと集いの和歌山』をめざして



## 21世紀ビジョンって何?

関西国際空港の開港、太平洋新国土軸構想の進展、世界リゾート博の大成功などにより、和歌山県の可能性がクローズアップされています。

21世紀に向かい、「世界に開かれた和歌山」として第一歩を踏み出したふるさと和歌山県。  
「21世紀ビジョン」は、新しい時代を先取りし、和歌山県の優れた特性を活用することにより、大きく発展していく21世紀初頭(2020年～2030年)の和歌山県の望ましい姿を大胆に展望したものです。



## 21世紀の和歌山県の目標は何ですか?

多彩な交流から、新しい文化・産業が生まれ、すべての人が生活し、学び、働き、遊ぶ喜びを感じることができる「喜びと集いの和歌山」が目標です。

また、この目標を実現するために重点的に取り組むべき三つの戦略目標として、「アジア太平洋の国際流通業務拠点の形成」「グローバルな精神文化の拠点形成」「世界をリードする創造型リゾートの形成」を掲げています。



また、この目標を実現するためには、多くの人が訪れ、交流の中から新しい文化も生まれています。保健・医療・福祉体制の充実、福祉のまちづくりの進展、マルチメディアネットワーク（音声・画像など多様な情報）を同時に高速で伝えることのできる広帯域のデジタル通信網や衛星通信網（HAN）の家庭への普及などにより、高齢者や障害者の方の社会参加も進み、すべての人が生きがいをもつて生活しています。

防災施設の充実や警察・消防機能の強化により、災害に強く、安全な社会が形成されています。アなどの利用により、家事労働が省力化され、生活の利便性もあくことを期待しています。

21世紀の和歌山県はどうな姿になつてるのでしょうか?  
“21世紀ビジョン”に描かれている和歌山県の姿を少し紹介します。

太平洋新国土軸を形成する紀淡海峡大橋・京奈和自動車道が完成。世界に直結する関西国際空港や、テクノスパーラインが寄港する国際港湾の整備により和歌山県は陸・海・空の交通のネットワークの要となっています。

また紀伊半島には高速道路が一周し、白浜空港には国際便も就航し、リゾート客の乗降で賑わっています。農林水産業は収益性の高い作物の開発など先端技術が導入され高い所得をあげています。都市との交流により農山漁村も活性化しています。



このほか、「21世紀ビジョン」には、和歌山、橋本、有田、御坊、田辺、新宮の六つの都市圏の未来像や交換留学生の旅行を通じて2020年の和歌山県を描いた「新紀の国物語」も掲載しています。

# おしらせ



〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

県営住宅、特定公共賃貸住宅  
宅入居者  
二ユ一かわなが園地（和歌山市  
宇森）  
●県営住宅＝11戸

申込用紙配布 10月2～13日  
受付 10月16、17日  
●特定公共賃貸住宅＝19戸  
申込用紙配布 10月2～9日  
受付 10月11～17日  
くわしくは県住宅供給公社 ☎  
(0734) 25-6885へ

「県ロボットコンクール」のマ  
スコットキャラクター」のイラ  
ストを募集します。  
対象 県内在住、通勤、通学し  
ている方又は県出身の方  
規格 1作品につき、B3判ケ  
ント紙1枚。色数や着色方法に  
制限なし。

賞 グランプリ1点（副賞30万  
円）、金賞（副賞10万円）ほか  
応募方法 11月30日までに県庁  
産地振興課内県デザインコンク  
ール実行委員会事務局へ  
くわしくは県庁産地振興課へ

私のまち写真コンテスト、  
まちづくり標語懸賞  
●写真コンテスト  
テーマ まちづくりに取り組む  
人々の活動、まちの表情など  
規格 キャビネ特以上四つ切り  
まで（スライド、組写真を除く）  
賞 建設大臣賞10万円等＝1点、  
実行委員会長賞5万円等＝2  
点ほか

応募方法 作品の裏面に題名、  
撮影場所（国内に限る）、撮影年  
月日、作品の意図、氏名、年齢、  
性別、住所、電話番号、職業、  
学校名、学年を記入し、平成8  
年1月31日までに〒113 東京都文  
京区本郷2-17-13 (社)日本交

通計画協会内「私のまち写真コ  
ンテスト」事務局 ☎ (03)  
3816-1791へ  
※作品は未発表のものに限り、  
また提出作品は返却しません。  
●標語懸賞  
テーマ 魅力あるまちづくりを  
進めるための合い言葉  
賞 （一般）特選5万円＝1点、  
準特選3万円＝1点 ほか  
（児童・生徒）特選3万円相当の  
図書券＝1点 ほか

応募方法 ハガキに標語（一枚  
につき1点）と住所、氏名、年  
齢、性別、職業、学校名、学年、  
電話番号、応募部門（一般、児  
童・生徒）を記入し、12月31日  
までに〒102 東京都千代田区紀尾  
井町3-32（財）都市計画協会内  
まちづくり月間実行委員会標語  
募集係 ☎ (03) 3262-1  
くわしくは県庁都市計画課へ

青年海外協力隊

募集期間 10月15日～11月30日  
募集説明会 10月27日午後6時  
（和歌山市）10月28日午後2時  
～伊都総合庁舎 11月8日午  
後6時30分～和歌山ターミナ  
ルホテル6階（和歌山市）11  
月9日午後6時30分～紀南文  
化会館（田辺市）

くわしくは県庁青少年女性課へ

再就業看護婦等講習会

最近の看護についての知識や  
技術を習得していただきます。

日時 11月14～16日 いずれも  
午前10時から

場所 田辺市医師会館

10月121～  
くわしくは申込先へ

一日合同行政相談所開設



国、県、市町村の行政や法律  
などあらゆる相談に応じます。

日時・場所 10月17日午前10時  
～11時 J Aビル5階

申込方法 往復ハガキに住所、  
氏名、年齢、電話番号、職種、  
経験年数、離職期間、白衣のサ  
イズを記入し、10月31日までに  
〒641 和歌山市西浜1014-4  
(社)県看護協会 ☎ (0734) 46-27

「シャクナゲの森」づくり  
「シャクナゲの森」づくり  
県民参加による  
シヤクナゲ植栽を通じ、自然  
に対する認識を深めてください。  
日時 10月15日正午～午後3時  
(雨天の場合22日)

対象 小学生以上  
申込み、参加費等くわしく  
は県庁林業課又は最寄りの県事  
務所林務課へ

要約筆記ボランティア教室  
くわしくは県社会福祉協議会  
☎ (0734) 32-18189又  
は県庁厚生援護課へ

福祉職場就職相談会  
日時 10月21日午後1時～  
場所 ブラザホープ（和歌山市）  
くわしくは県社会福祉協議会  
☎ (0734) 32-18189又  
は県庁厚生援護課へ

10月11～12日 一泊二日  
場所 県立紀北青年の家（かつ  
らぎ町）  
定員 15家族（先着順）  
参加費 大人3,000円、  
小・中学生2,400円  
申込 10月17～31日に電話で県  
立紀北青年の家 ☎ (0734) 46-27

くわしくは申込先へ

くわしくは県庁県民相談室へ

くわしくは子ども・障害者相  
談センター ☎ (0734) 45-  
5311、紀南児童相談所 ☎  
(0739) 22-1588、新宮  
分室 ☎ (0735) 22-8555  
1、各福祉事務所へ

子どもと家庭のテレフォン  
番号

10月12～13日 くわしくは申込先へ

くわしくは子ども・障害者相  
談センター ☎ (0734) 45-  
5311、紀南児童相談所 ☎  
(0739) 22-1588、新宮  
分室 ☎ (0735) 22-8555  
1、各福祉事務所へ

今が見頃、コスモス畑

楽しいです。標高1,300メ  
ートルの護摩壇山から、龍神溫  
泉にかけて、移り行く秋をご満  
喫ください。



## 県バスポートセンター

11月13日開設

●20歳以上の方は、旅券の有効  
期間が10年と5年のいずれかを  
選択することができます。

●20歳未満の方は、旅券の有効  
期間が5年のみとなります。  
●今までありました子どもの併  
記はできなくなります。

●手数料は次のとおりとなります。  
●20歳未満の方は5,000円  
（12歳未満の方は5,000円）  
●従来の申請用紙は使用できま  
せん。

※県旅券窓口はなくなります。  
※県旅券窓口はなくなります。  
●従来の申請用紙は使用できま  
せん。

くわしくは県際交流課 ☎  
(0734) 41-2056、11月  
13日からは県バスポートセンタ  
ーへ

国民参政50周年・普選  
70周年・婦人参政50周年

旅券法改正のお知らせ

旅券法が改正され、11月1日  
申請分から次のとおり変更とな  
ります。

受付は今までどおりです。

※県旅券窓口はなくなります。

※県旅券窓口はなくなります。

●従来の申請用紙は使用できま  
せん。

くわしくは県際交流課 ☎  
(0734) 41-2056、11月  
13日からは県バスポートセンタ  
ーへ

# おしらせ

県庁・県教育委員会は

## 消防設備点検資格者講習

期日 ● 第1種（消防設備士）  
1・2・3・6類 12月5日

7日 ● 第2種（消防設備士）  
4・5・7類 12月12～14日

場所 いすれも和歌山県書道資料館（和歌山市）

定員 各80人

申請書配布場所 県庁消防防災課、各県事務所総務課、各消防本部

受付 10月16～27日に県庁消防防災課へ持参又は郵送

くわしくは受付先へ

和歌山技能フェスティバル

期日 11月4、5日

場所 和歌山地域地場産業振興センター（和歌山市）

内容 優秀な技能者の表彰、現代の名工・技能士・高等技術専門校生などの作品展示、実演、即売など

くわしくは県庁職業能力開発課へ

和歌山技能フェスティバル

期日 11月4、5日

場所 和歌山地域地場産業振興センター（和歌山市）

内容 優秀な技能者の表彰、現代の名工・技能士・高等技術専門校生などの作品展示、実演、即売など

くわしくは県庁職業能力開発課へ

レザーフェスティバル'95

皮革製品展示即売や黒潮太鼓、エアロビクスダンスなどのイベ

ントを行います。

日時 11月3日午前10時～

場所 和歌山市の雄松町3丁目交差点より南向約200メートルの歩行者天国（市道大橋島崎町

くわしくは県庁職業能力開発課へ

県立近代美術館 ☎(0734)36-8690

野田裕示近作展 10月24日～12月17日 一般300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円  
休館日 月曜日

県立博物館 ☎(0734)36-8670

紀州陶磁の美 12月27日まで 一般600円、高校生・大学生400円、小・中学生200円  
休館日 月曜日

県植物公園緑化センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「誰にでもできる庭木の手入れ」 10月15日、「ハーブを楽しむ」 10月22日  
秋の花遊び 11月4～5日

## お気軽はどうぞ

## 交通事故相談

[常設相談] 月～金曜日（東牟婁県事務所は水曜日を除く）

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所  
[弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 每月第1、3月曜日 ●東牟婁県事務所 每月第1、3金曜日 受付 午後1時～3時

[巡回相談] ●伊都県事務所 10月25日 ●西牟婁県事務所 11月8日 受付 午後3時まで

## 県民相談

[常設相談] 月～金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

[弁護士による法律相談] 每月第2、4金曜日

受付 午前9時～11時 場所 県庁県民相談室

[移動相談] ●清水町民会館 10月25日 ●打田町古和田会館 11月7日 ●白浜町中央公民館

11月16日 受付 午後1時～3時

\*くわしくは県庁県民相談室 ☎(0734)41-2359（交通事故相談）41-2356（県民相談）

## 十月八日は木の日

10月8日は木の日です。

（「十」と「八」で「木」となります。）

木の床は湿度が一定で、掃除機による吸収が容易でダニが潜り込みにくく、精油の一種にダニの抑制成分が含まれるなど清潔な環境を作ることができます。

また、木は紫外線の反射が少なく、目に与える刺激が少ないやさしい材料です。

今一度、木に対する認識を深め、古くて新しい材料である「木」を見直してみませんか。

## 考え方 知ろう 語ろう 北方領土

10月8日は木の日です。

木の床は湿度が一定で、掃除機による吸収が容易でダニが潜り込みにくく、精油の一種にダニの抑制成分が含まれるなど清潔な環境を作ることができます。

また、木は紫外線の反射が少ないと見えます。

木は紫外線の反射が少ないと見えます。

## 県防災総合訓練実施

8月31日、海南市赤坂の海南インテリジェントパークで、県防災総合訓練を実施しました。

訓練には、地元住民の皆さんや44の防災関係機関、約1,200人が参加しました。

32回目を迎える今回は、阪神・淡路大震災を教訓に地震による災害を想定。

訓練内容は、倒壊家屋からの負傷者救出、消防機関と自衛隊との連携訓練、ヘリコプター8機による空中活動、初動時の避難や消火、津波避難、通信訓練、仮設橋の設置訓練など。

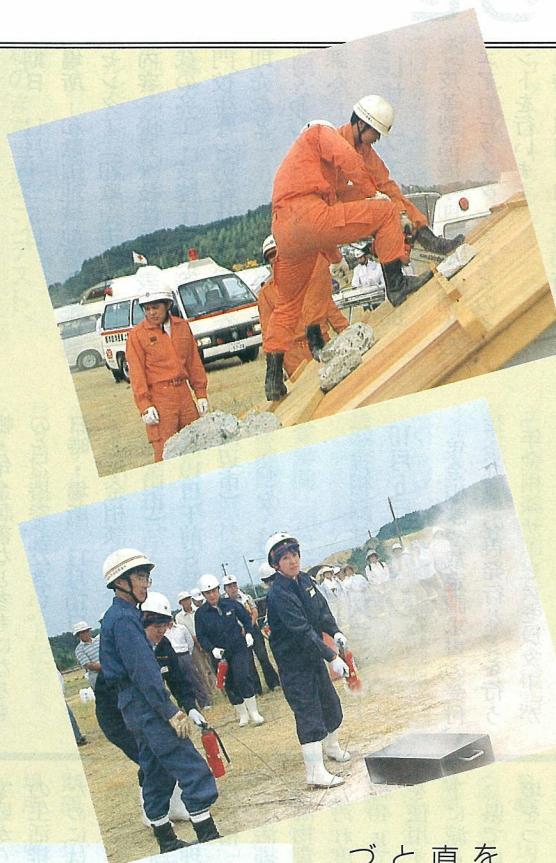
また、和歌山市新在家のJR会場では、脱線車両からの救助訓練なども行いました。

展示コーナーでは、起震車による地震体験のほか避難所の再現、防災用品の展示、実演なども実施しました。

### 防災航空隊発足

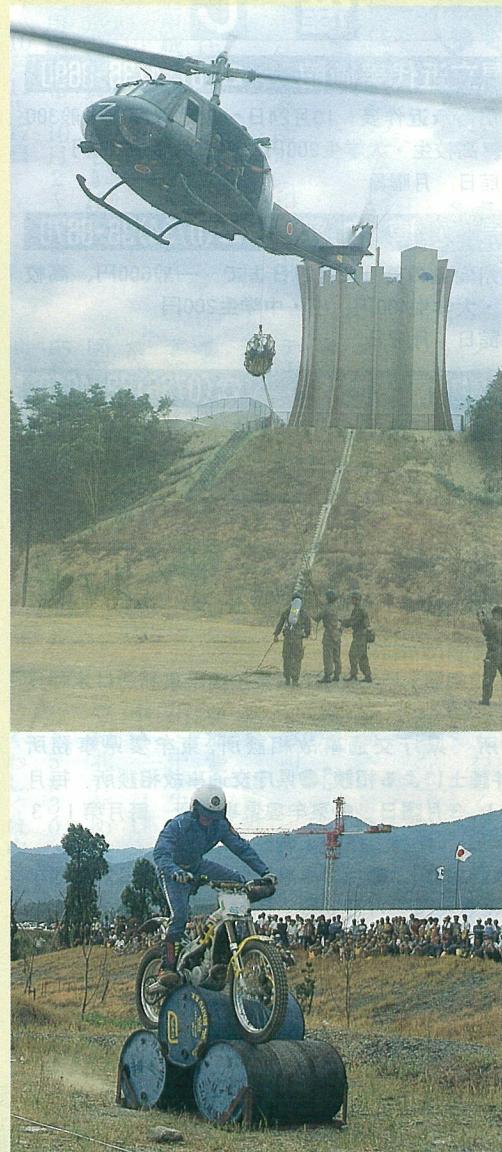
大規模災害や患者の救急搬送に、迅速に対応するため県では、防災ヘリコプターを導入します。

また、これに伴い「防災航空隊」が、今月発足し、来年3月の運航開始に向けて訓練を始めます。



# 災害に強い県づくり

県では、阪神・淡路大震災を教訓に、地域防災計画の見直しをはじめ、地域・市町村と一体となり、災害に強い県づくりに取り組んでいます。



## 畜産の振興に一役

### くろしお牧場

西牟婁郡すさみ町にある県畜産試験場に

- 先月、牧場が完成しました。この「くろしお牧場」は熊野牛の繁殖基盤の充実と乳用牛の質向上を図るために整備されたもの。草地面積は4.35ヘクタール、肉用牛・乳用牛あわせて42頭を飼養します。

牧場では、熊野牛（優良系統和牛）とスーパーカウ（年間乳量10,000キログラム以上の乳用牛）の受精卵を酪農家の乳用牛に移植し、生産された子牛を引き取って、哺育・育成します。そして熊野牛は繁殖和牛農家に、スーパーカウは酪農家に譲渡する計画です。また皆さんのが畜と直接ふれあうこともできます。

畜産の振興と発展のために大いに期待が寄せられています。（すさみ町）

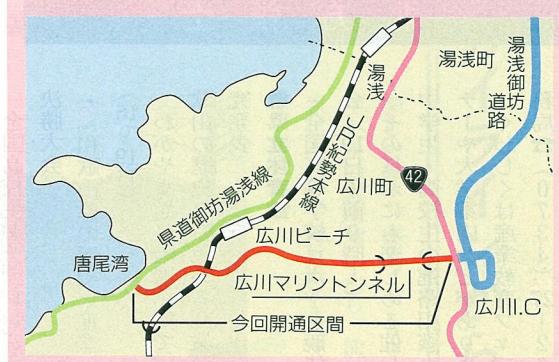


## 唐尾マリン アクセス道路開通

湯浅御坊道路の広川I.Cと広川町の唐尾湾を結ぶ「唐尾マリンアクセス道路」がこのほど開通しました。

県が昭和63年度から整備を進めてきたこの道路は、総事業費約42億円、総延長約4.1キロメートル、幅7メートルとなっています。

海洋性リゾート基地の交通基盤整備と農産物輸送の合理化を兼ね備えた道路として期待されています。



吉宗リレーイベント  
「おもしろらんど那賀」

九月十日、粉河ふるさとセンターで、吉宗リレーイベント「おもしろらんど那賀」を開催しました。野外ステージでは、腕相撲大会を実施。見てるだけで、腕に力が入る熱戦が繰り広げられました。そのほか、映像とトーク、漫才やキャラクターショー、アマチュアバンドの演奏など一日中楽しい催しで賑わいました。（粉河町）

※吉宗リレーイベントは、今後、今月8日橋本市、15日下津町、11月3日広川町などで実施します。

